

平成29年11月13日

草津市議会議長 瀬川 裕海 様

議会運営委員会
委員長 棚橋 幸男

平成29年度 議会運営委員会研修結果報告書

標題の研修結果は、下記のとおりでありましたので報告いたします。

記

1. 期 間 平成29年10月26日（木）～平成29年10月27日（金）

2. 研修日程および事項

《研修》

10月26日（木）13時30分から15時30分まで 山口県防府市議会研修

○『議会改革の取り組みについて』

10月27日（金）10時00分から12時00分まで 広島県呉市議会研修

○『議会改革の取り組みについて』

3. 参加者 議員10人、職員2人 計12人

委員長 棚橋 幸男 副委員長 奥村 恭弘

委員 杉江 昇、山元 宏和、久保 秋雄、

西田 剛、木村 辰巳、西村 隆行

議長 瀬川 裕海 副議長 奥村 次一

<随同行> 議会事務局長 寺井 儀政

<随同行> 議事庶務次長 木村 博

4. その他 詳細は別紙行政視察報告書のとおり

議会運営委員会 行政視察報告書

防府市議会 『議会改革の取り組みについて』

(平成29年10月26日(木) 13時30分～15時30分)

防府市議会出席者(敬称略)

松村 学 議長
高砂 朋子 議会改革推進協議会会長
田中 健次 議会改革推進協議会委員
久保 潤爾 議会改革推進協議会副会長
議会局職員(栗原・大田)

1 議会改革の取り組み

① [防府市の概要]

人口等	人口 116,482人 55,013世帯 (平成29.4.1現在)
面積	188.59 km ²
予算規模等	412.9億円(平成29年度一般会計) 財政力指数0.81
概要	昭和11年8月市制施行 山口県南部、瀬戸内沿岸のほぼ中央にあつて、東は周南市に、北から西にかけては山口市に接し南は離島の野島に至っている。市内北部は、防府天満宮の門前町として商業が発展。南部は17世紀後半から製塩業で栄えた。1960年代から塩田跡地に企業誘致を進め、自動車組立工場を頂点とする輸送機器関連製造業が集積。県内有数の製造品出荷額を誇る産業都市になった。
市議会	・ 議員定数25人(現議員数24人)

② [議会基本条例の制定経過]

<議会基本条例>

平成20年 4月 自治体基本条例制定のための懇話会で、議会としての議会基本条例を作ることを意見集約。

平成22年12月 議会基本条例を制定(全国で137件目、県内で3番目)

平成23年 1月 議会改革フォーラム

- 4月 議会基本条例施行
- 平成24年 3月 議案への各議員の意思表示の公表、議会報告会の年1回以上の開催を明文化
- 平成28年 3月 全員協議会の公開、講座の開催

③ 〔現在の議会改革の取り組み〕

議会報告会

- 報告会の手法としては、議会単独で実施する方法と自治会等と共催する方法がある。平成23年4月に自治連合会と開催に関する協定書を交わし、共催により、16地区で毎年5月に開催。議員は4班編成でいずれかの班に属する。報告会で出された意見等への回答をHPへ掲載。翌年の報告会で各地区へ配布。概要は、議会だよりに掲載。
- 平成23年から報告会を実施しているが、課題などが出てきたため報告会の実施方法の見直しを行った。
変更点は、
 - ・議会の仕組み、役割をわかりやすく説明。
 - ・重点を絞って報告。参加者の意見の中から重要なものは議会として取りまとめ市に要望する。
 - ・参加者からの相談は、報告会終了後、その場で議員が対応。必要に応じて市に回答を求め、相談者へ報告。
- 報告会への参加者は、平成23年度は422名、平成24年度は405名、平成25年度は5月430名、11月285名、平成26年度は407名、平成27年度は348名、平成28年度は386名、平成29年度は346名。
- 議会報告会とは別に毎定例議会後、議会概要報告会を市自治連合会理事会の際に実施している。

議案に対する賛否を議員別に公表

- 平成23年3月議会から、議会ホームページ及び「ほうふ市議会だより」に掲載。

議会懇談会

- 市民団体や5名以上の市民から申し込みがあった場合は、議員との懇談会を実施している。

政策討論会

- ▶ 議案になっていない政策、課題の議論をする。全員協議会方式で実施。
- ▶ 空家等の適正管理条例の制定については、執行部と条例素案について4回協議を行い、平成24年3月に条例制定を行った。条例には、見直し条項を附則に追加する修正案を全会一致で可決した。
- ▶ 体育館の使用料改定について執行部と協議し、その結果を執行部提案として条例改正を行った。
- ▶ 中小企業振興基本条例の制定については、議員が関係団体をヒアリングし、市内中小企業も視察し、条例案を作成した。平成27年3月に条例制定。

議会モニター制度

- ▶ 公募と推薦団体により10名程度。2年任期。
- ▶ 委嘱方式で市議会議員との意見交換会は年1回は実施している。
- ▶ モニターの意見は、「モニター通信」として提出され、議会の回答をHPに公表、議会だよりにその概要を掲載。

2 質疑応答

Q：議会報告会を自治連合会との共催で問題点はあるか。

A：一定の人数は集まるが、自治連の役員などメンバーが固定化してきている。

Q：草津市では、市の幹部職員が多く報告会に来るが防府市ではどうか。

A：ほとんどいない。地区担当職員制度をとっているなので、その地区の担当職員2名は、来るが他はない。担当地区の住民の意見などを聞きに来ている。担当職員は、課長補佐級以上で2年任期。

Q：特定の市民が執拗に自己の意見を主張することはないか。

A：日頃から行政や議会に対する不満を持っておられる市民の方も参加者の中にはおられ、報告会の内容とは関係のないことを延々と主張される場合があるので、その場合は、司会者の方に止めていただいて報告会を進めていただく。終了後、議員がその方の話を聞き、必要であれば行政に確認し、後日返答をする。報告会が始まる前に司会者が、報告会に関係のないことはこの場では発言できない旨の説明をしてもらっているので最近では炎上も少ない。

個別の意見交換の場は、炎上するか、それを抑え込むと意見が出なくなってくるかどちらかになりがちである。市民の意見は、大切であるので、報告会終了後、個別に聞くようにしている。

Q：報告会は、議会としての意見になるが、賛否が分かれるような案件がある場合はどのように報告しているのか。

A：賛成の意見は、何々……。反対の意見は、何々……。そして、このような議論があつて、結果として議会ではこの方向で決まった。と報告している。

Q：草津市では、議会報告会の参加者が少ないが、人を集める良い方法はないか。

A：一番の方法は、自治連合会と協定を交わして共催で実施していること。あとは、市の広報車やFM放送で周知している。議会で市民に関心の高いテーマがあるときは、参加者も多いが、通常テーマの時は少ない。

Q：なぜ、毎回定例会ごとに議会概要報告を自治連合会にしているのか。

A：自治会は、住民自治の基礎となる団体であり、その会長に、議会で何が議論されているのか知ってもらうため。

Q：議会懇談会は、どのような団体としているのか。

A：混合型血管奇形の難病指定を求める会、防府市の学校給食を考える会、山口県保険医協会防府支部、地吉林道地権者共有会、野島・島づくり協議会、日本肝臓病患者団体加盟患者会やまぐち肝炎会の会、防府設計集団、山口県保険医協会防府支部、上山満之進に学ぶ会などがある。
議会から市民に呼びかける懇談会はしていない。

Q：中小企業振興基本条例案の作成については、事務局が関与しているのか。

A：法令に詳しい議員が中心になって作成したので事務局はほとんどかかわっていない。執行部の法規担当とのやり取りはあった。

Q：議会モニター制度の推薦団体は、どのような団体か。

A：自治連合会と小学校PTA連合会、女性連絡協議会

3 所感

本市議会は、平成27年1月1日に施行された議会基本条例に掲げた「市民に開かれた議会」「政策の立案や提言を行う議会」「行政の監視および評価を行う議会」の3つの柱を中心に、議会改革の取り組みを進めているところですが、議会運営委員会として、市民に対する情報発信に関する課題解決と改革の推進に向け参考とするべく、防府市議会に視察にお伺いしたところです。

防府市議会は、全国で137番目の制定となる比較的早い時期の平成22年12月に

議会基本条例を制定され、「市民に開かれた議会」を目指して、様々な改革や活性化の取り組みを進められています。

特に注目すべき事項としては、議会報告会や議会概要報告において自治会連合会と協定を締結し、共催しているところです。共催することにより一定の人数の参加者を確保するとともに、自治会連合会の役員は、地域での課題を多少なりとも把握しているので少なからず住民の意見が反映できていると考えられています。

また、議会懇談会で市民団体と積極的に意見交換や聞き取りを行うことにより政策提言に結びつけていることや議会モニター制度を活用して議会広報の改善や議会報告会の啓発方法の改善をされるなど市民の意見を積極的に取り入れておられます。

一方で、工夫されているにもかかわらず議会報告会の参加者が固定化されてきていることや特定の市民が自分の意見を主張する場となるなど本市と同じ悩みを抱えている点も見受けられますが、防府市議会においては、議会基本条例の先進地として、試行錯誤を繰り返しながら常に改善していく姿勢を持って議会改革に取り組まれており、本市議会としても草津市の地域の実情に応じた議会報告会や市民との意見交換の場が設定できるよう、引き続き議会の改革、活性化に取り組んでまいりたいと改めて感じたところです。

(文責：議会運営委員会 委員長 棚橋 幸男)

議会運営委員会 行政視察報告書

呉市議会 『議会改革の取り組みについて』

(平成29年10月27日(金) 9時30分～11時30分)

呉市議会出席者(敬称略)

加藤 忠二 議長(御挨拶のみ)
片岡 慶行 議会運営委員会委員長
中佐古 雅祥 議会事務局員

1 議会改革の取り組み

④ [呉市の概要]

人口等	人口229,868人 111,399世帯 (平成29年3月末現在)
面積	352.80 km ²
予算規模等	980.8億円(平成29年度一般会計) 財政力指数0.61
概要	<ul style="list-style-type: none">1902年10月1日市制施行、2000年に特例市に指定。2016年には中核市へ移行。瀬戸内海に面した港町。呉湾は、東洋一の軍港として栄えた。戦後は、造船、鉄鋼業中心に発展。市民と行政の協働のまちづくりを基本に据え、基幹産業である「ものづくり産業」や豊富な地域資源といった市の特色を最大限に活かしたまちづくりを進めている。16年4月に横須賀市、舞鶴市、佐世保市とともに旧軍4市が日本遺産に認定される。
市議会	<ul style="list-style-type: none">議員定数32人(現議員数32人。)

⑤ [これまでの議会改革の取り組み]

議会改革・議会活性化に向けた取り組み経過

平成19年9月に市長が財政集中改革宣言を出したのを受けて行財政改革特別委員会を設置し、市側だけでなく議会内部における財政健全策についても調査・検討を行ってきた。平成24年度までに財政集中改革プログラムの収支不足の解消についての見通しが立った。現在は、議会運営委員会において議会改革・議会活性化を検討しており、委員構成は、各会派の所属議員数の比率により委員数を割り当てて

いる。現在の定数は9人。

議会改革・議会活性化に向けて実施された取り組み項目

- 平成23年 政策研究会を設置
議会報告会の本格実施
議決事件の拡大（基本構想と姉妹都市提携を議決事件とする。）
- 平成24年 一問一答方式に一本化
決算で事務事業評価活用
- 平成25年 会派担当職員の配置
本日のニュースのメール配信
議会図書購入費の増額
委員会の関係団体に対して議会報告会を実施
議員報酬の減額
海外視察の休止
- 平成26年 議員定数の削減（34人⇒32人）
委員会視察の結果報告
議会報告会での意見交換の充実
議会図書室情報紙「チャージ」の創刊
- 平成27年 議員研修会開催経費の増額（15万円⇒45万円）
議会の人事では執行部側の出席を求めない
議員の閉会中の視察、研修等の状況についてホームページでの公開
出産のための休暇を会議規則に規定
議案質疑の一問一答方式の導入
一般質問、予算総体質問における質問方法の選択制
県立図書館及び市立図書館との連携
災害対応要領の作成
タブレット端末の導入
- 平成28年 議会ホームページへ議案、議案資料、委員会資料の掲載
議場モニターを活用した質問
委員会審議状況（ブリーフィングノート）の公開
電子表決システムの導入
傍聴者アンケートの実施

予算特別委員会、議会協議会の一般傍聴の許可
議会図書館の設置
F a c e b o o kを活用した議会情報の発信
議会図書室の司書の配置
本会議等のDVDの貸し出し
議会探訪ツアーの実施
手話通訳等の実施
議長交際費のホームページでの開示
政務活動費の収支状況のホームページでの開示
議員が行った視察状況をホームページで開示
議会図書室の機能強化
委員会のインターネット中継
傍聴の際の受付手続き廃止
教えて呉市議会を実施

平成29年 モニターで使用した資料を会議録に掲載
議会広報紙を発行
議員別賛否一覧表を会議録に掲載

⑥ 〔最近の議会改革の取り組み〕

タブレット端末の導入について

- 議会運営委員会で「議会のICT化」について検討し、その結果、
 - ① 委員会のインターネット中継
 - ② SNSを活用した広報
 - ③ ペーパーレスにつながるタブレット端末の導入の3点に決まった。
- タブレット導入の目的は、
 - ① 資料送付の迅速性の確保
 - ② ペーパーレス化の推進に伴う経費削減
 - ③ 議会活動の一助の3点。
- タブレット導入による効果は、
 - ① 議案書、議席配付物など、資料の印刷・製本、送付に係る事務の時間と費用を

削減

② 資料のカラー化

③ 出先での説明

④ 開会通知や連絡事項、議会共通のスケジュールなどの確認

- 配信については2か年の計画で行った。
平成27年度は、各部発送資料、会議の開会通知、諸連絡等
平成28年度は、委員会の行政報告資料、後半で議席配付物、議案・議案資料
- 削減経費としては、議案書・議案資料32,096円など、議席配付資料118,000円、予算書86,800円、決算書100,000円、事務局ファックス送信料121,557円で合計458,453円。
- タブレットを引き渡し時に業者による操作説明会を開催。後日、全員に対し、再度操作説明の講習会を実施する。
- 全額公費負担で賄った機器であるので会議には必ず持ち込むことを決定した。
- 経費は、LTEデータ通信契約で、1台当たり3,621円×12月×35台＝152万820円。
- 運用方法は、Googleアカウントを活用し、Gmail, Googleカレンダー、Googleマップ、Googleドライブなど無料のソフトを活用。
- 課題としては、議員の使用頻度に差があること、画面が小さいこと、完全ペーパーレス化になっていない。

議会報告会・意見交換会

- 平成22年度から始める。常任委員会ごとに班編成を組み、平成28年度は、市内10会場（市民センター単位）で10月7日、11月1日から18日まで実施。実施時間は、報告30分、意見交換60分。参加人数は、534人。内容は、議会の仕組み、常任委員会の位置づけ、常任委員会の所管性を活かしたテーマとして「投票率の向上」、「ふるさと納税とクラウドファンディング」、「子育て支援」、「学校における諸課題」、「空き家対策と有効活用」などがある。
- 改善点は、①市民との意見交換を重視することを表すため、タイトルを「議会報告・意見交換会」に変更②地域での一般開催の箇所数を減らし、関係団体の箇所数を増やした。③平成29年度から学校での本格開催に向け、市立呉高校で報告会の開催④会場や参加人数に応じて、机や椅子の配置を工夫して、議員と市民の距離を近づける形式（車座やロの字形式）を導入⑤ファシリテーター役の設置（事前にグループ形式の議員研修会を実施）

- ▶ 参加促進のため、議員が駅頭でのぼりを立て、揃いのジャンパーを着てチラシを配布している。(マイクによる参加呼びかけも実施。)
- ▶ 会場は、参加者との距離を近づけるため、当初の対面形式からグループ方式、車座方式へと改善してきた。

議会図書館について

- ▶平成26年に新庁舎建設に合わせて事務局にプロジェクトチームを設置し、強い議会を支えるための議会図書室づくりの模索を行った。
- ▶先進地として、鳥取県議会図書室、鳥取県庁内図書室、日野市市政図書室、鳥羽市議会図書室、国会図書館を視察した。その結果、重要なのは図書室の規模ではなくて、レファレンス機能であることが分かってきた。取り組みとしては①蔵書の充実・資料の収集②他の図書館との連携③議員への積極的な情報提供④レファレンスサービスの強化がある。
- ▶図書購入費はH29年度から30万円、定例会の審議案件や委員会の所管事務調査項目に即した図書の購入。市政資料室との併設。
- ▶他の図書館との連携として、市立図書館や県立図書館と連携し、図書の貸し出しやレファレンスサービスを受けている。また、広島修道大学図書館と連携し、法学部、商学部、経済学部などの文系図書の貸出やレファレンスサービスを受けている。
- ▶議員への積極的な情報提供として議会図書館情報誌「チャージ」を月2回発行している。新着図書や雑誌の目次情報、各地の先進地事例など。
- ▶一般質問に「使える」特集棚を設置し、「子どもの貧困」「発達障害」「働き方改革」などのキーワードをもとに本を集めている。
- ▶議員個別メールサービス「イナズマ」を行っている。過去の会議録から各議員のキーワードを設定し、そのキーワードに関係する新聞記事や図書などの情報をタブレットに送信している。
- ▶レファレンスサービスの強化として常駐の嘱託職員の司書を1名配置している。司書の情報収集能力を活かして一般質問や政策提言に活用している。
- ▶案件によっては、司書が直接公立図書館へ出向いて「現地調査」を行っている。
- ▶司書は、議員事務局職員の支援だけではなくて執行部職員のレファレンスにも対応している。司書は、能力向上のために、市政情報室を活用し資料を把握するほか、過去の会議録の読み込みや市の総合計画等の読み込みも行っている。
- ▶取組の成果としては、毎定例会において一般質問をした約半数の議員が、質問の作成に議会図書室のレファレンスを活用している。また、委員会での質疑や所管事務調査に活用したり、視察先の選定にも活用している。司書設置後、32名中29名の議員が議会図書室を活用している。議員の知的拠点としての議会図書室になりつつある。

2 質疑応答

Q：タブレット導入について市民から苦言等はなかったか。

A：ペーパーレス化を導入目的にしているため、予算は要求どおりついた。市民の関心は、タブレットの導入経費よりも政務活動費のほうが関心が高い。議員定数44人を32人に減らすなど議会費の削減には以前から切り込んできている。

Q：執行部は、タブレットを持っているのか。

A：執行部は、タブレットを持っていない。説明者は、ペーパーを持ち込んで説明している。どこを説明しているのかわからない時もあるが、議場のモニターに映し出している。

Q：議員によってタブレットの扱いの習熟度が違うと思うが、使いきれていないといった意見はないか。

A：議員によって差がある。使い方の講習会を実施したり、事務局職員が教えたりしている。ただし、議会報告会では、タブレットのみの対応で紙の資料は持ち込んでいない。

Q：タブレットの通信費は、公費か。

A：政務活動費の使途で携帯電話代は、ダメにして、その代わりにタブレットの通信費を公費にした。

Q：会議システムは導入しているのか。

A：経費を安くするためにGoogleの無料ソフトを活用している。メモ機能や会議中に同期することができないのでその点は不便。会議ソフトの導入については、執行部がタブレットを導入したときに入りたい。

Q：議会報告会では、広報と広聴があるがどちらを重視しているのか。

A：広報と広聴を混同しているが、重要なのは、広聴。市民の声を聴くことが議会の仕事。

Q：報告会には、たくさんの方が参加しているが何か工夫しているのか。

A：自治会連合会へ参加を呼び掛けている。

新庁舎建設問題で議会も市民も二分し、熱気を帯びた時期もあったが最近少しマンネリ化してきている。

主権者教育の一つとして市内の高校へ出かけて報告会を実施している。

Q：議会報告会の意義は何か。

A：議会報告会は、市民から求められているわけではない。議員自ら情報発信している。議員はどんな考えでどんなことをしているのかを理解してもらう必要がある。単なる報告会ではだめ。市民と意見交換をする必要がある。地域住民と議会が地域課題を解決する場としていきたい。意見交換や懇談会の結果、政策提言や条例提案ができれば素晴らしい。報告会で市民の要望を聞き、行政に物申す場にできれば素晴らしい。

以前報告会で「要望は聞きません」と言ったら市民から報告会はもういいと言われた。

毎回改善する必要がある。各種団体とも懇談会を行っている。多様な報告会の

場があるほうが良い。

3 所 感

本市議会は、平成27年1月1日に議会基本条例を施行し、「市民に開かれた議会」「政策の立案や提言を行う議会」「行政の監視および評価を行う議会」という3つの柱を立てて議会改革に取り組み、各々の議員もまた自らが資質向上に努め、議会の果たすべき役割を常に意識して行動しなければならないと考えています。

当議会運営委員会としても、議会運営に関する課題解決と改革の推進に向け真摯に取り組んでいかなければならないことから、とりわけ「市民に開かれた議会」の実現に熱心に取り組んでおられる呉市議会の事例を参考とするべく視察に伺ったものです。

呉市議会は、平成22年6月に議会基本条例を制定され、市民に対して積極的に情報の公開や発信を行うとともに、議会の報告会を始めとした市政への市民参加を推進し、市民に分かりやすい開かれた議会の実現に向けた取り組みを進められています。

特に注目すべき事項は、首長と対峙できる「強い」議会を支えるための議会図書室改革です。限られた予算の中でレファレンス機能を高め、議員の一般質問や政策提言に活用できるようにするために、新庁舎の建設に合わせて、議会図書室に市政資料室を併設し、常駐の司書職員を配置されていることです。司書による議会図書室情報紙の発行や議員個別メールサービスを活用して議員への積極的な情報提供を行い、議員はこれらの情報を活用し説得力のある一般質問を行っておられました。

また、議会報告会の開催を通じて、まず議会の役割、活動を市民に知っていただくという観点から取り組んでおられ、主権者教育として市内の高等学校においても実施している点は素晴らしかったです。また、市内10地区での開催だけにとどまらず、常任委員会が所管する関係団体値においても開催されるなど議会の報告にとどまらず、市民の声を聞いているところは感心しました。

次に、「タブレット端末の導入」について御教示いただきましたが、全ての資料の配付や会議の開催通知についてはタブレットを活用し、ペーパーレスに取り組んでおられる一方で、議員により使用頻度に個人差があることや会議システムを導入されていないことからどの資料で説明されているのかわからなくなることがあるようです。議場での補助資料の掲示につきましては始めたばかりで目に見える効果が得られていないとのことでありましたが、議会力の向上の手段と有効に活用できる可能性が見られることから、今後も注目してまいりたいと考えています。

(文責：議会運営委員会 委員長 棚橋 幸男)

